

平成31年 e-AAC新年会

- ・平成31年2月3日
- ・会場：奈良県文化会館 第3会議室

第1部 講演会 10:30～12:00

- ・演題:万葉集の出発
—持統天皇・藤原宮・「あめのかぐやま」—
- ・講師:村田正博氏 大阪市立大学名誉教授

第2部 e-AAC活動報告 12:10～12:35

- ・理事長挨拶
- ・第1部会
- ・第2部会
- ・第3部会

第3部 懇親会 12:45～14:45

- ・平成30年度e-AAC十大ニュースの投票

■ 地域における2つの課題

1. 超スピードで進化する**テクノロジー**
・第4次産業革命：AI、IoTの進化
2. 超高齢化社会の加速（**人口減少**）
・奈良県老年人口：41.1%（2040年）

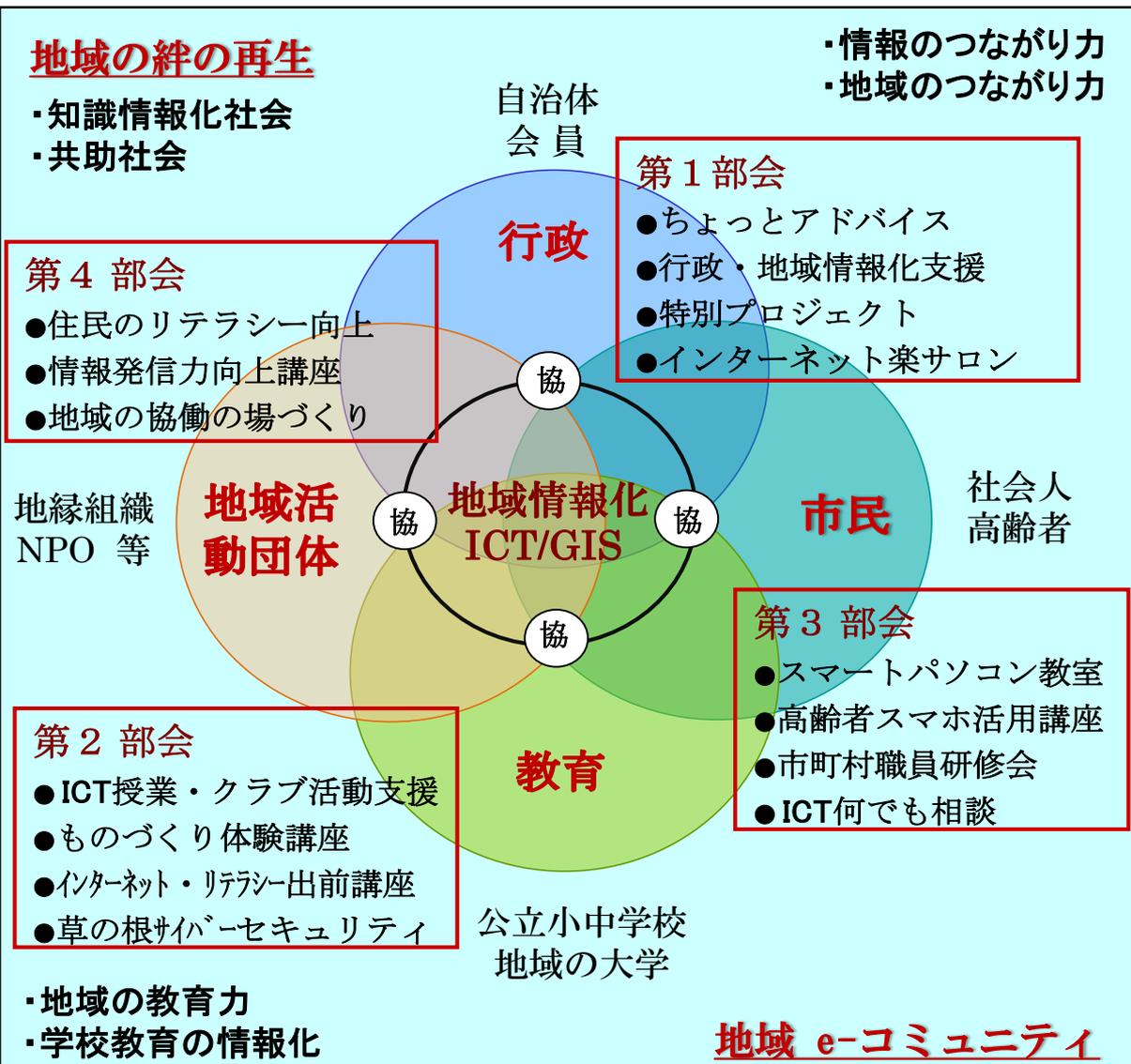
■ コンセプト

ICTの利活用により、地域を活性化して市民生活を向上させ、**スマートシティ**の構築を目指す。
・人生100年時代への備え

■ 地域活動

分野	活動内容
行政	第1部会：自治体情報化支援 ～自治体会員へのICT支援
市民	第2部会：パソコン力向上支援 ～市民のパソコン力の向上
教育	第3部会：学校教育情報化支援 ～公立学校のICT授業支援
活動団体	第4部会：ワークショップ ～市民情報リテラシー向上

■ 活動分野（4つ分野を軸にしてICTの強い街づくり）



総務省の施策

1. 地方自治体におけるCIOの育成（H19～、自治体職員研修を実施）
2. 地方自治体セキュリティ人材の育成（サイバー防御演習を実施）
3. 自治体に情報化アドバイザーの派遣（H22年～、H29年200自治体）

e-AACの活動

- H17より、e-AAC自治体会員を定期的に巡回し、国の上記3つの施策をカバーする「ちょっとアドバイス」（行政システムに関する助言）や地域情報化支援等を行っている。
- 地域の生活インフラを効率的に運営する（スマート化）仕組みを検討し、医療・介護、教育、観光等のソフトインフラの構築を支援する。

国の地域情報化アドバイザー派遣団体



1/16 並河天理市長と市長室にて

■ e-AAC自治体会員

e-AAC会員	17年	18~19	20~23	24~26	27	28~29	30
天理市							→
葛城市							→
奈良市(準)							→
大和郡山市						→	
大和高田市							→
橿原市							→
下市町							→

1. 行政システムに関する助言の事例

- 行政システムの最適化、見える化
- 情報セキュリティポリシーの見直し
- 行政の効率化・行政サービスの充実
- RPA (Robotic Process Automation)
- ICT関連調査、情報の提供 等

2. 地域情報化事業の支援活動

- 地域情報化計画の作成・提案
- ICT地域活性化のための仕組み作り
- 過疎地域の通信基盤整備事業支援
- 地域 ICT人材育成 等

3. 特別プロジェクト

- ① 小学校授業支援：パソコン・タブレットを使った学習支援
 - ・奈良市立西大寺北小：ICT授業支援、クラブ活動(パソコン／科学クラブ)
 - ・奈良市立佐保台小：クラブ活動(パソコンクラブ)
 - ・天理市立柳本小学校：クラブ活動(パソコンクラブ)

② ものづくり体験学習

ICTを活用して課題に創造的に取組む力を育成する。
ハード、ソフトの役割を理解し、ものづくりに興味を抱かせる。

- ・パソコンを分解して構造・機能を学ぶ・・・ハード
- ・プログラミング(Scratch)・・・ソフト
- ・子どもパソコン製作(IchigoJam)・・・ハード、ソフト
- ・ロボットカー製作とプログラミング・・・ハード、ソフト



ロボットカーの製作

2020年より、小学校教育にプログラミング教育が必修化される。算数、理科、総合学習の時間で行われることとなる。論理的な思考能力を養う。

③ スマホとモラル

子どもたちにインターネットの正しい使い方を教え、トラブルに巻き込まれないように、インターネット・リテラシー講座を実施している。



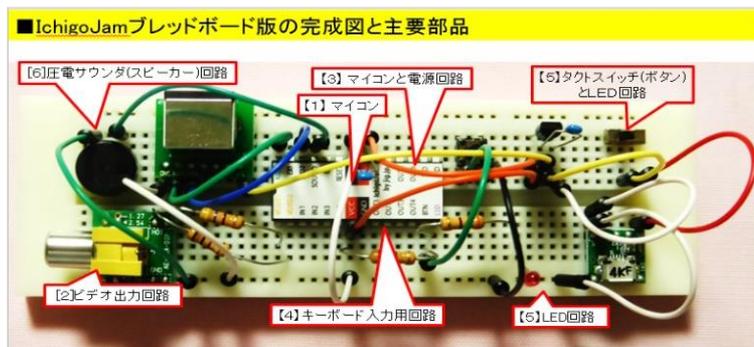
7/8 パソコンを分解して構造・機能を学ぶ
明日香村 中央公民館



10/3 プログラミング
奈良市 三笠公民館



7/5 スマホとモラル
大和郡山市 矢田南小学校



IchigoJam (子どもパソコン)の組立て



10/14 子供パソコン製作
天理市 櫛本公民館

■ 「何を学んだか」から「どのように学んだか」への転換

これからの子供達がどのように社会に関わってより良い人生を送るのかを想定し、子供達の生き方にも影響するような研修を心掛ける。地域の有識者が、教えるだけの存在ではなく、現物を見る目を養い、子供達に感動を与え、探究心を誘発して、課題解決の論理的思考能力を養う。e-AACは活動のファシリテータの役割を担う。

■ 地域の絆

- ①地域社会は、大人や子供が、多様な交流や体験を積み重ねることにより、子供の社会規範やモラル、社会的マナー、勤勉性等、社会性の基本となる様々な能力や態度を育てていく。
- ②地域社会は、家庭教育及び学校教育を側面的に補完し、支える役割を果たす。
- ③家庭は、子供が安心できる場として、子供の心身調和のとれた発達を図る上で重要な役割を果たす。
- ④地域社会は、情報リテラシーを高め、地域の教育力を高めて、新たな成長を見出す取り組みを行う。

活動場所：地区公民館（平成30年度）

- ・奈良市三笠公民館、平城公民館、
- ・天理市：櫛本公民館、式上公民館、
- ・橿原市：耳成公民館、鴨公公民館、真菅公民館

■ 草の根サイバーセキュリティ啓発活動

デジタル社会の進展によって、世の中は非常に便利にはなったが、セキュリティ問題が顕在化し、市民による草の根セキュリティ活動が広がっている。



小学校 スマホとモラル講座



草の根セキュリティ啓発活動



天理市サタデースクール

1. アンケートから見えてくるもの

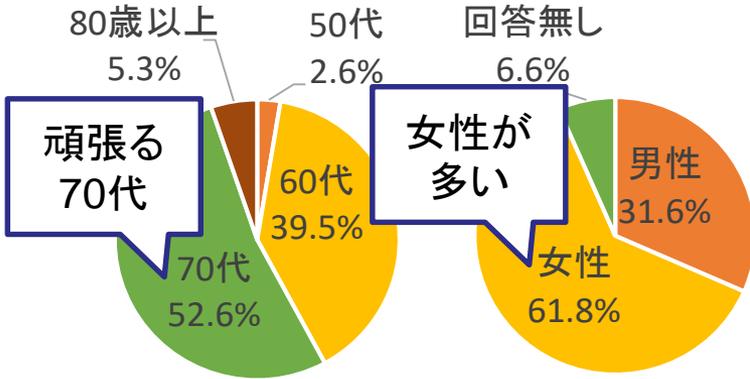
昨年8月～9月にかけてシニアを対象とした各パソコン教室でアンケートを実施（回答数76名）。

年齢構成

性別

パソコン教室に参加する目的

60代 70代



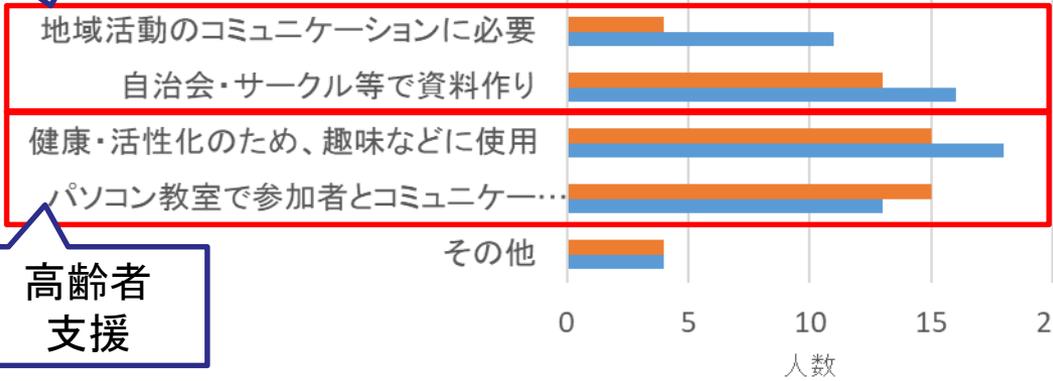
地域活動支援

地域活動のコミュニケーションに必要
自治会・サークル等で資料作り

健康・活性化のため、趣味などに使用
パソコン教室で参加者とコミュニケー...

高齢者支援

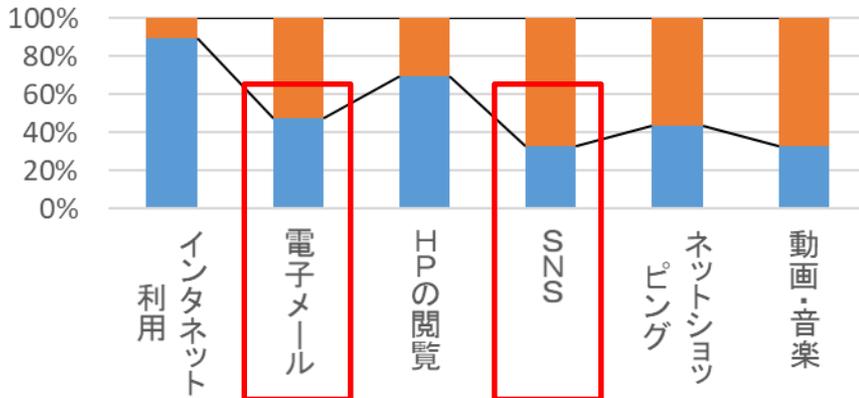
仕事でパソコンを活用



電子メール・SNSの活用が不十分

インターネット利用状況

利用している 使わない

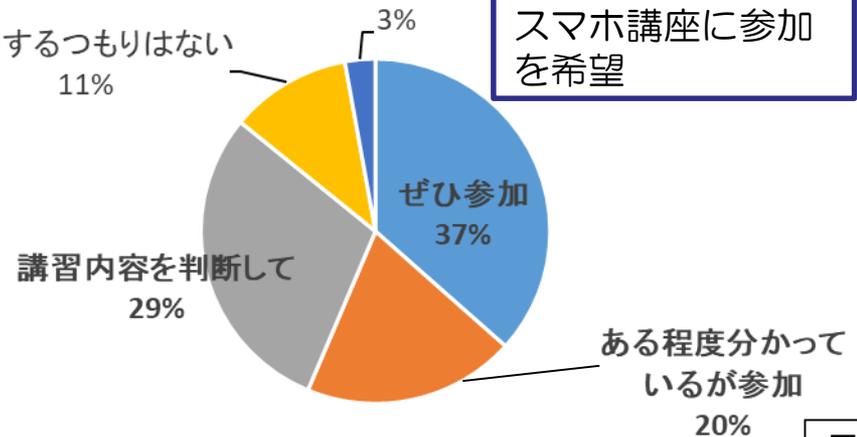


スマホ講座の参加の有無

参加するつもりはない 11%

その他 3%

90%に近い人がスマホ講座に参加を希望



第3部会の3本の柱の（★新規コース）

1. 市町村職員向けパソコン教室（受託）

昨年度と同じ9講座

➡ ニーズに合った講座へ
（エクセル基礎講座の増加）

2. シニア向けパソコン教室

■自主事業

大宮教室
学園前教室
高田教室
天理中級教室

■受託事業

天理初級教室
下市町教室★



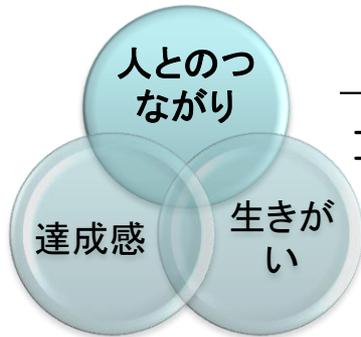
予算カットで縮小傾向



- ①自主事業の拡大の検討
- ②時代にあったカリキュラムの検討



「作る」から「人とのつながり」へ
コミュニケーションツールの活用
（電子メール、SNSなど）



3. スマホ講座（受託）・・・希望者の増加

・高田市スマホ講座

★スマホ講座修了者の育成コース



座学形式



自立したグループ活動支援



他の地区へ展開できるように課題の掘下げ

①機種のはらつき（異なる操作）

iPhone、アンドロイド、簡単スマホ

②用途・目的の開拓・・・地域活動・高齢者支援



スマホでつなぐ
シニアの輪

